

2013.11.17 (日) 牧志駅前ほしぞら公民館

# NOCIW HAWE

## アイヌの星ばなし

めくみ  
(語り ★ 山内 銘宮子)

北海道に昔から暮らしてきたアイヌの人々は、どんなふうに  
星空を見ていたのでしょうか？

電気もない時代に、昔のアイヌの人々が生活に役立てた独自の  
星座をご紹介します。



©wikipedia

※星図は、秋の星座  
北海道(札幌)の  
緯度(北緯43度)で  
作られています。



©Astro Ninja Projects



<アイヌの星座Facebookページ>  
<https://www.facebook.com/nociw>

アイヌ語で星は「ノチウ」。「ゲタ」「リコブ」と呼んだ地域  
もあります。アイヌ独自の星座は、今ではアイヌの間でもほと  
んど語られなくなった幻の星座。1940~70年代にかけて、旭川出身の末岡外美夫先生が研究をして  
著書に残しました。最古のアイヌ語辞典といわれる「蝦夷方言藻汐草(1804年)」に記された10数  
個の星名からも、アイヌに独自の星座があったことは証明されます。この星座から、何百年も昔に北  
海道に暮らした人々が、どのように星を眺めて宇宙を感じていたか、想像することができます。  
北海道から遠く離れた沖縄にも、月や星にまつわる史跡があります。当時の島人たちは、どんなふう  
に夜空を眺めていたのでしょうか？星を見ながら郷土の歴史や文化にも触れてみませんか？

(アイヌ星座ナビゲーター 山内銘宮子)